日本の音楽市場の分析

伊藤華純　坂上大陽　三井駿

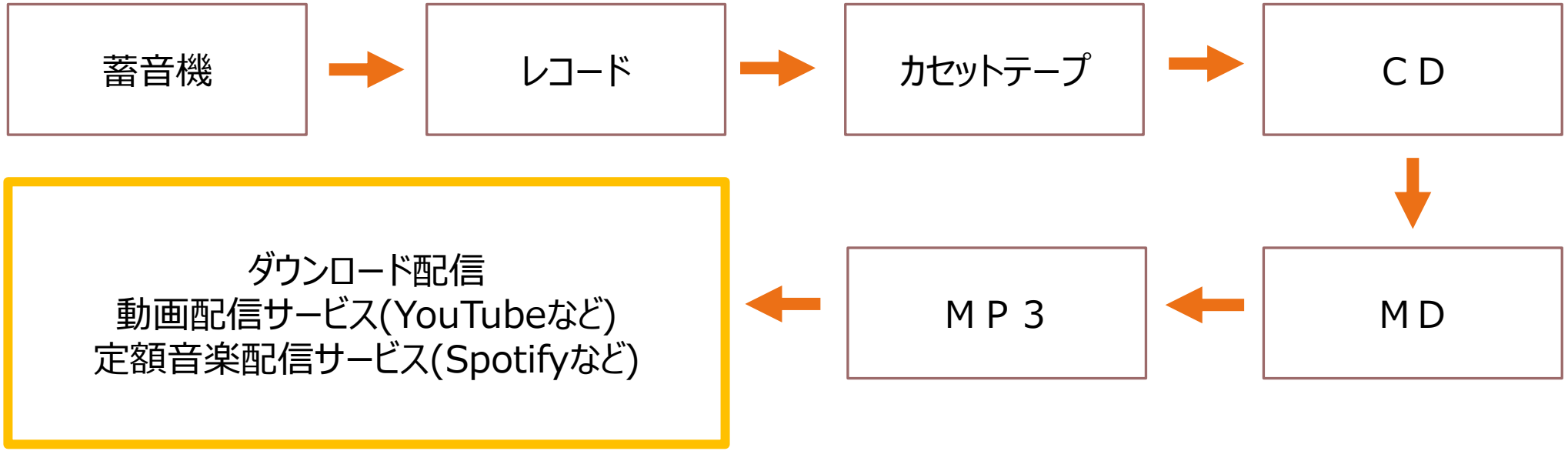
目次

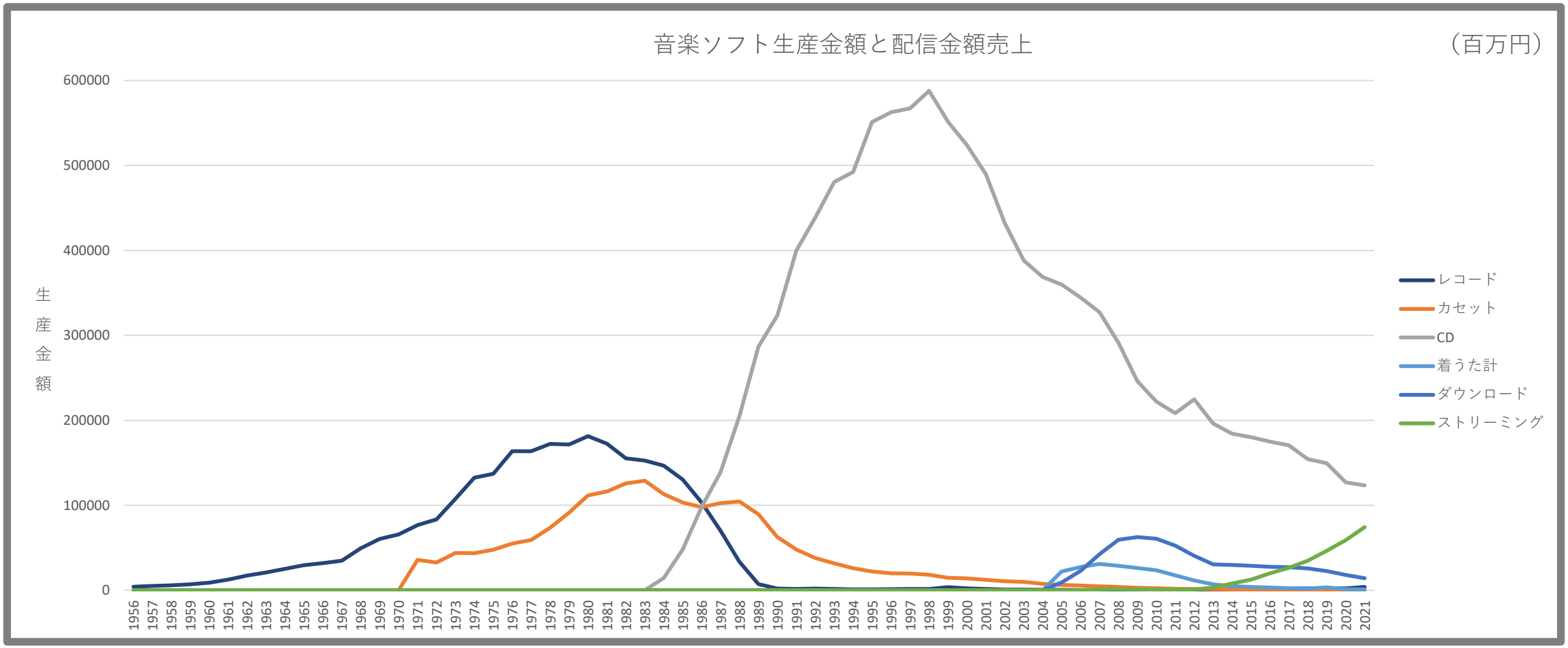
- 音楽聴取方法の変遷
- CD市場の変遷
- CD需要の要因分析
- サブスクリプションとの互換性
- サブスク・CD市場の二分化
- 日本の音楽市場の将来性

音楽聴取方法の変遷

音楽聴取方法の変遷

- 技術進歩に伴い、音楽聴取方法は変化してきた。

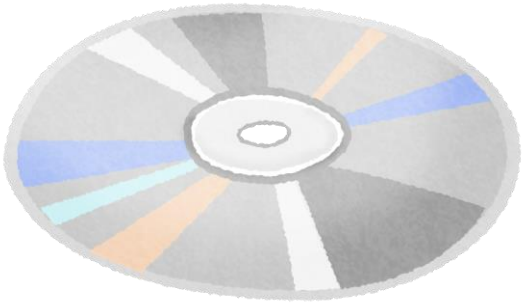




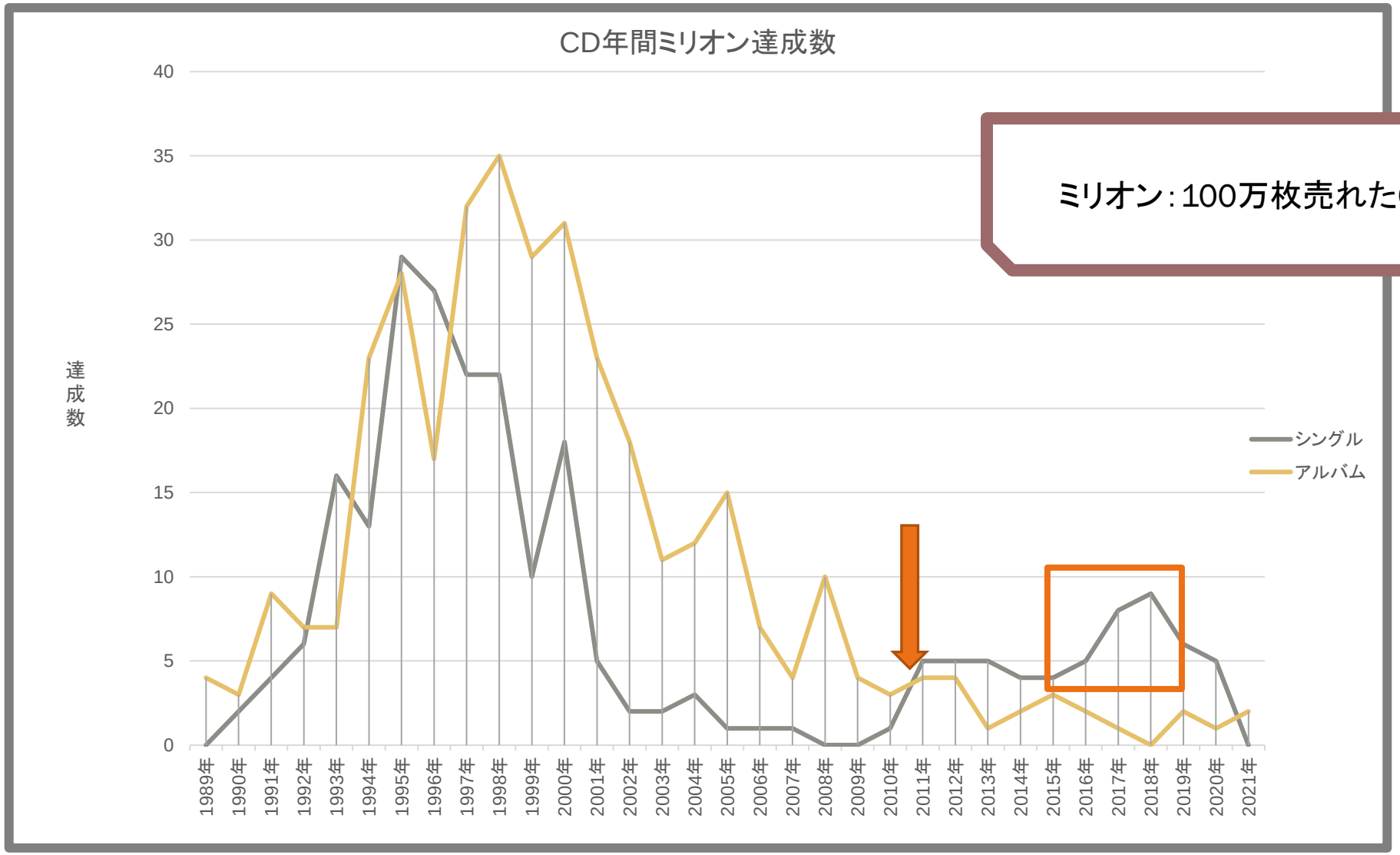
引用：一般社団法人日本レコード協会「生産実績・音楽配信売上実績　合計金額推移」
https://www.riaj.or.jp/f/data/annual/total_m.html　（2022/06/25閲覧）

音楽メディア市場の分析にあたって

他媒体と比較した際、最も長期的に高い売上金額を維持しているという観点から、まず初めにCD市場に焦点を当てる。



CD市場の変遷



引用：一般社団法人日本レコード協会「年次ミリオン認定作品」
https://www.riaj.or.jp/f/data/others/mil.html （2022/08/02閲覧）

シングルミリオン達成アーティスト【1990～1995年】

1990年	B.B.クィーンズ	1993年	サザンオールスターズ	1994年	大黒 摩季	1995年	H Jungle with t
	プリンセス・プリンセス		沢田 知可子		尾崎 豊		L←→R
1991年	小田 和正		THE 虎舞竜		class		大黒 摩季
	KAN		ZARD		サザンオールスターズ		岡本 真夜
	CHAGE＆ASKA		CHAGE＆ASKA		ZARD		桑田佳祐＆Mr.Children
	槇原 敬之		DEEN		篠原涼子 with t.komuro		サザンオールスターズ
1992年	ASKA		とんねるず		TRF		シャ乱Q
	稲垣 潤一		DREAMS COME TRUE		中島 みゆき		スピッツ
	今井 美樹		中山美穂＆WANDS		広瀬 香美		CHAGE＆ASKA
	KAN		B'z		B'z		TRF
	米米CLUB		藤井 フミヤ		福山 雅治		DREAMS COME TRUE
	サザンオールスターズ		松任谷 由実		松任谷 由実		B'z
	大事MANブラザーズバンド		WANDS		Mr.Children		FIELD OF VIEW
	浜田 省吾				WANDS		福山 雅治
	B'z						藤谷美和子／大内義昭
	槇原 敬之						MY LITTLE LOVER
							松任谷 由実
							マライア・キャリー
							Mr.Children

【1996～1998年】

1996年	相川 七瀬	1997年	安室 奈美恵	1998年	Every Little Thing
	安室 奈美恵		井上 陽水		大黒 摩季
	今井 美樹		今井 美樹		Kiroro
	華原 朋美		華原 朋美		KinKi Kids
	久保田利伸 with ナオミ・キャンベル		河村 隆一		GLAY
	globe		KinKi Kids		J-FRIENDS
	サザンオールスターズ		GLAY		SPEED
	ZARD		globe		SMAP
	シャ乱Q		猿岩石		T.M.Revolution
	JUDY AND MARY		SPEED		hide with Spread Beaver
	スピッツ		T-BOLAN		B'z
	セリーヌ・ディオン with クライズラー＆カンパニー		PUFFY		BLACK BISCUITS
	PUFFY		B'z		Mr.Children
	B'z		ポケットビスケッツ		八島 義郎
	ポケットビスケッツ		松田 聖子		L'Arc～en～Ciel

‘95～’98頃までがアーティスト数の全盛期

【1999～2009年】

1999年	宇多田 ヒカル	2000年	宇多田 ヒカル	2001年	宇多田 ヒカル	2005年	修二と彰
	Kiroro		大泉 逸郎		桑田 佳祐	2006年	KAT-TUN
	GLAY		KinKi Kids		CHEMISTRY	2007年	秋川 雅史
	坂本 龍一		倉木 麻衣		浜崎 あゆみ	2008年	認定作品なし
	サムシング・エルス		GLAY		ポルノグラフィティ	2009年	認定作品なし
	SPEED		サザンオールスターズ	2002年	宇多田 ヒカル		
	SMAP		慎吾ママ（香取慎吾）		浜崎 あゆみ		
	速水けんたろう、茂森あゆみ／ひまわりキッズ		SMAP	2003年	宇多田 ヒカル		
	モーニング娘。		浜崎 あゆみ		SMAP		
	八島 義郎		B'z	2004年	ORANGE RANGE		
	L'Arc～en～Ciel		福山 雅治		福山 雅治		
			プッチモニ		森山 直太朗		
			Misia				

2000年代突入後アーティスト数減少

【2010～2021年】

2010年	AKB48	2017年	AKB48	2020年	AKB48
2011年	AKB48		乃木坂46		SixTONES vs Snow Man　/　Snow Man vs SixTONES
2012年	AKB48	2018年	AKB48		Snow Man
2013年	AKB48		欅坂46		乃木坂46
2014年	AKB48		乃木坂46	2021年	該当作品無し
2015年	AKB48	2019年	欅坂46		
2016年	AKB48		乃木坂46		
	SMAP		BTS		
	乃木坂46		嵐		
			AKB48		

2010年からアイドルが独占

アルバムミリオン達成アーティスト【1990～1994年】

1990 年	サザンオールスターズ	1991年	小田 和正	1992年	久保田 利伸	1993年	今井 美樹	1994年	今井 美樹
	松任谷 由実		CHAGE＆ASKA		米米CLUB		X		大黒 摩季
			DREAMS COME TRUE		サザンオールスターズ		桑田 佳祐		尾崎 豊
			B'z		CHAGE＆ASKA		米米CLUB		桑田 佳祐
			プリンセス・プリンセス		DREAMS COME TRUE		サザンオールスターズ		ZARD
			松任谷 由実		B'z		ZARD		Z団
					プリンセス・プリンセス		竹内 まりや		竹内 まりや
							CHAGE＆ASKA		CHAGE＆ASKA
							TUBE		TUBE
							DREAMS COME TRUE		TRF
							浜田 省吾		T-BOLAN
							氷室 京介		DEEN
							B'z		DREAMS COME TRUE
							ホイットニー・ヒューストン他		平松 愛理
							槇原 敬之		B'z
							松任谷 由実		プリンセス・プリンセス
							WANDS		ホイットニー・ヒューストン他
									槇原 敬之
									松任谷 由実
									マライア・キャリー
									Mr.Children
									WANDS

引用：一般社団法人日本レコード協会「年次ミリオン認定作品」
https://www.riaj.or.jp/f/data/others/mil.html （2022/08/02閲覧）

【1995～1999年】

1995年	安室 奈美恵	1996年	相川 七瀬	1997年	相川 七瀬	大黒 摩季	1999年	相川 七瀬
	大黒 摩季		安室 奈美恵		安室 奈美恵	尾崎 豊		井上 陽水
	クイーン他		ウルフルズ		稲葉 浩志	オリジナルサウンドトラック		宇多田 ヒカル
	米米CLUB		大黒 摩季		今井 美樹	華原 朋美		Every Little Thing
	ZARD		尾崎 豊		Every Little Thing	河村 隆一		エリック・クラプトン
	シャ乱Q		華原 朋美		大黒 摩季	Kiroro		Kiroro
	スキャットマン・ジョン		カーペンターズ		岡本 真夜	KinKi Kids		GLAY
	鈴木 雅之		globe		河村 隆一	GLAY		globe
	スピッツ		サザンオールスターズ		川本 真琴	globe		ZARD
	竹内 まりや		ZARD		KinKi Kids	サザンオールスターズ		JUDY AND MARY
	TUBE		シャ乱Q		GLAY	THE YELLOW MONKEY		鈴木 あみ
	TRF		スピッツ		globe	ZARD		セリーヌ・ディオン
	DREAMS COME TRUE		TUBE		THE YELLOW MONKEY	the brilliant green		T.M.Revolution
	氷室 京介		TRF		ZARD	SHAZNA		Dragon Ash
	B'z		T-BOLAN		JUDY AND MARY	JUDY AND MARY		DREAMS COME TRUE
	福山 雅治		DREAMS COME TRUE		スピッツ	スピッツ		浜崎 あゆみ
	ボン・ジョヴィ		B'z		SPEED	SPEED		浜田 省吾
	MY LITTLE LOVER		マライア・キャリー		Chara	セリーヌ・ディオン		広瀬 香美
	松任谷 由実		Mr.Children		DREAMS COME TRUE	TRF		B'z
	マライア・キャリー		吉田美和		PUFFY	T.M.Revolution		布袋 寅泰
	マライア・キャリー他				B'z	T-BOLAN		MAX
	Mr.Children				MY LITTLE LOVER	PUFFY		Mr.Children
	森高 千里				槇原 敬之	hide with Spread Beaver		山下 達郎
	山下 達郎				MAX	広瀬 香美		ゆず
	ユニコーン				松任谷 由実	B'z		L'Arc～en～Ciel
	吉田美和				マライア・キャリー	BOOWY		ローリン・ヒル
	WANDS				ミー・アンド・マイ	槇原 敬之		
					Mr.Children	MAX		

’97がアーティスト数の最盛期

【2000～2003年】

2000年	aiko	2001年	aiko	2002年	宇多田 ヒカル	2003年	アヴリル・ラヴィーン
	井上 陽水		宇多田 ヒカル		エンヤ		綾小路 きみまろ
	Every Little Thing		Every Little Thing		小田 和正		HY
	KinKi Kids		鬼束 ちひろ		倉木 麻衣		EXILE
	倉木 麻衣		倉木 麻衣		桑田 佳祐		CHEMISTRY
	GLAY		CHEMISTRY		ゴスペラーズ		サザンオールスターズ
	小柳 ゆき		ゴスペラーズ		TLC		女子十二楽坊
	サザンオールスターズ		JUDY AND MARY		中島 美嘉		t.A.T.u
	ザ・ビートルズ		SMAP		浜崎 あゆみ		DREAMS COME TRUE
	椎名 林檎		竹内 まりや		Various		中島 美嘉
	19（ジューク）		DA PUMP		B'z		浜崎 あゆみ
	JUDY AND MARY		浜崎 あゆみ		BoA		BoA
	鈴木 あみ		BACKSTREET BOYS		ポルノグラフィティ		
	スピッツ		V.A.		MISIA		
	SPEED		平井 堅		Mr.Children		
	Chara		福山 雅治		RIP SLYME		
	TUBE		ポルノグラフィティ				
	DREAMS COME TRUE		松任谷 由実				
	浜崎 あゆみ		MISIA				
	浜田 省吾		Mr.Children				
	V.A.		モーニング娘。				
	平井 堅		LOVE PSYCHEDELICO				
	B'z		L'Arc-en-Ciel				
	福山 雅治						

アーティスト数の減少傾向

【2004～2008年】

2004年	アヴリル・ラヴィーン	2005年	EXILE	2006年	絢香	2007年	EXILE	2008年	アヴリル・ラヴィーン
	Utada		ORANGE RANGE		宇多田 ヒカル		コブクロ		安室 奈美恵
	宇多田 ヒカル		ケツメイシ		倖田 來未		ZARD		宇多田 ヒカル
	ORANGE RANGE		倖田 來未		コブクロ		セリーヌ・ディオン		EXILE
	QUEEN		サザンオールスターズ		浜崎 あゆみ		MR.CHILDREN		GReeeeN
	倉木 麻衣		JUDY AND MARY						徳永 英明
	浜崎 あゆみ		中島 美嘉						ヴァリアス・アーティスツ
	平井 堅		平井 堅						B'z
	ポルノグラフィティ		B'z						Mr.Children
	Mr.Children		BoA						
	Ryu ／ Sun		ポルノグラフィティ						
			Mr.Children						

【2009～2021年】

2009年	絢香	2012年	AKB48	2016年	小田 和正
	嵐		コブクロ		SMAP
	EXILE		少女時代		松任谷 由実
2010年	嵐		Mr.Children	2017年	安室 奈美恵
	いきものがかり	2013年	竹内 まりや	2018年	ミリオン認定アルバム該当なし
	徳永 英明	2014年	AKB48	2019年	嵐
2011年	嵐		V.A.		中島 みゆき
	EXILE	2015年	嵐	2020年	米津玄師
	AKB48		三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2021年	Snow Man
	レディー・ガガ		DREAMS COME TRUE		BTS

男性アイドルの割合増加

CD需要の要因分析

先行研究

浅井澄子,『CDと音楽配信の需要の決定要因』.InfoCom review(vol.55,62-76,2011)

2010年のオリコン・リサーチの年間上位100に入った楽曲の概要をまとめ、シングルとアルバムのタイトル別データを用いて需要関数を推定。

【シングル、アルバム】<InArtist>2008年と2009年におけるパッケージの販売金額が多い方の値(百万円)・<InCDyear>アーティストが最初にCDを発売した年からの経過年数(年)・<Johnny>ジャニーズ事務所に所属するアーティストのCDを1とした変数・<Company>大手レコード会社を1とした変数で、有意な結果。

【アルバムのみ】<Fan>オリコン調査で好きなアーティスト上位20に入ったアーティストを1とした変数で有意な結果。

この先行研究を参考に、1990年～2021年までのシングル・アルバム売上枚数が多かったアーティストトップ30を、

①男性ソロ
②女性ソロ
③男性グループ（アイドル※）
④女性グループ（アイドル）
⑤男性グループ（アイドル以外）
⑥女性グループ（アイドル以外）
⑦その他（オムニバスやサウンドトラック）

に分類し、各年のミリオンの人数・グループ数で計上した場合で回帰分析を行った。

※検索した際のジャンルの欄にアイドルと表記されるものと定義する。

シングルアーティスト分類表【1990年～2021年】

年	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）	その他	アーティスト数
1990年	6	3	14	0	12	0	0	35
1991年	8	7	15	1	12	0	0	43
1992年	5	6	14	1	8	0	0	34
1993年	3	6	14	0	8	0	0	31
1994年	5	9	12	0	12	0	0	38
1995年	1	4	8	0	8	0	0	21
1996年	3	6	8	1	12	0	0	30
1997年	1	4	7	2	9	1	0	24
1998年	1	0	7	2	4	1	0	15
1999年	2	5	6	3	8	1	1	26
2000年	3	6	6	2	0	2	0	19
2001年	3	2	6	1	2	2	0	16
2002年	3	6	6	4	0	1	0	20
2003年	4	7	9	2	2	0	0	24
2004年	3	6	7	4	1	0	0	21
2005年	0	6	10	4	0	0	0	20
2006年	2	2	8	8	0	0	0	20
2007年	2	3	5	8	0	0	0	18
2008年	2	3	5	8	0	0	0	18
2009年	5	2	3	8	0	1	0	19
2010年	4	11	3	5	1	1	1	26
2011年	3	9	4	6	1	4	0	27
2012年	2	9	6	5	1	3	0	26
2013年	1	6	5	8	1	3	1	25
2014年	5	4	3	10	1	4	1	28
2015年	4	3	5	9	1	3	1	26
2016年	3	2	4	9	3	5	2	28
2017年	2	1	8	11	0	6	1	29
2018年	2	3	4	12	0	5	0	26
2019年	2	4	8	10	0	3	0	27
2020年	3	3	3	11	0	4	1	25
2021年	2	1	2	17	1	1	0	24

参照：Jpopgirls「歴代オリコン邦楽シングルチャート」https://jpopgirls.com/single-chart/（2022/08/25閲覧）

アルバムアーティスト分類表【1990年～2021年】

年	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）	その他	アーティスト数
1990年	3	8	10	0	12	2	0	35
1991年	3	8	6	0	11	0	1	29
1992年	5	6	10	0	7	1	0	29
1993年	6	5	12	0	8	1	1	33
1994年	6	8	12	0	9	1	1	37
1995年	7	6	11	1	9	0	1	35
1996年	1	6	11	0	8	3	0	29
1997年	3	6	9	1	12	0	0	31
1998年	1	5	9	1	6	3	1	26
1999年	2	7	6	1	8	3	1	28
2000年	2	10	5	1	3	2	4	27
2001年	2	8	11	1	3	1	2	28
2002年	4	10	8	0	3	0	2	27
2003年	3	8	9	2	3	1	0	26
2004年	4	10	7	2	2	0	2	27
2005年	2	7	12	2	2	0	1	26
2006年	2	9	7	3	2	0	1	24
2007年	2	11	7	3	2	0	1	26
2008年	2	10	5	2	1	1	3	24
2009年	3	8	8	5	2	1	0	27
2010年	4	11	3	5	1	1	1	26
2011年	3	9	4	6	1	4	0	27
2012年	2	9	6	5	1	3	0	26
2013年	1	6	5	8	1	3	1	25
2014年	5	4	3	10	1	4	1	28
2015年	4	3	5	9	1	3	1	26
2016年	3	2	4	9	3	5	2	28
2017年	2	1	8	11	0	6	1	29
2018年	2	3	4	12	0	5	0	26
2019年	2	4	8	10	0	3	0	27
2020年	3	3	3	11	0	4	1	25
2021年	2	1	2	17	1	1	0	24

参照：Jpopgirls「歴代オリコン邦楽アルバムチャート」https://jpopgirls.com/album-chart/（2022/08/25閲覧）

先行研究

浅井澄子,『CDと音楽配信の需要の決定要因』.InfoCom review(vol.55,62-76,2011)

CDの需要決定要因を考察する際に使用する変数を、アーティストの属性を示すことで考察。

$$Insale = \alpha_0 + \alpha_1 InArtist + \alpha_2 InCDYear + \alpha_3 \mathrm{Fan} + \alpha_4 Johnny + \alpha_5 Company + \beta_1 Foreign$$

この先行研究を参考に、説明変数を、

$$\boldsymbol{Insale = \alpha_0 + \alpha_1 \times \text{男性ソロ} + \alpha_2 \times \text{女性ソロ} + \alpha_3 \times \text{男性グループ（アイドル以外）} + \alpha_4 \times \text{女性グループ（アイドル以外）} + \alpha_5 \times \text{男性グループ（アイドル）} + \alpha_6 \times \text{女性グループ（アイドル）} + \varepsilon}$$

に決定し、回帰分析を行うことでCDの売上枚数との関係を導く。

また、ここでは、生産について、浅井に従い、自然対数に変換した数値を用いる。

シングル・アルバムCD市場　単/重回帰分析

- アーティスト分類表などの結果から、男性・女性アイドルがCD市場における需要を大きく占めていると考え、両方の属性を含む場合に限定した単/重回帰分析を行う。

- 浅井論文に倣って、オムニバスやサウンドトラックの含まれるその他は、回帰分析から省くこととする。

〈シングル〉

括弧内：t値　　※：5%有意の結果であった場合

	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）		切片	補正R2	観測数
1				-0.08847（-9.98248）				19.82158	0.760895	32
2						※-0.16847（-5.30863）		19.6198	0.467185	32
3				※-0.07382（-6.7266）		※-0.05471（-2.07823）		19.83172	0.784713	32
4	※-0.06773（-3.54851）			※-0.08205（-8.5815）		※-0.05167（-2.32047）		20.07082	0.846193	32
5		-0.01376（-1.29456）		※-0.06996（-6.21798）		※-0.06443（-2.37884）		19.89859	0.789616	32
6			0.005879（0.276535）	※'-0.07208（-5.62939）		-0.05387（-2.00052）		19.78426	0.777631	32
7				※-0.07831（-6.26943）	-0.0152（-0.77119）	※-0.05436（-2.05029）		19.88472	0.781662	32
8	※-0.06612(-3.49953)	-0.01170(-1.30095)		※-0.07857(-8.00399)		※-0.06001(-2.61923)		20.12123	0.84990	32
9	※-0.07076(-3.54164)		-0.01096(-0.59254)	※-0.08567(-7.49031)		※-0.05310(-2.34358)		20.16924	0.84254	32
10	※-0.06657(-3.41228)			※-0.08427(-7.82104)	-0.00797(-0.47151)	※-0.05153(-2.28209)		20.09374	0.84180	32
11		-0.01330(-1.23783)		※-0.07414(-5.78194)	-0.01372(-0.70195)	※-0.06379(-2.33266)		19.94425	0.78573	32

	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）		切片	補正R2	観測数
12			0.00421(0.195335)	※-0.07693(-5.30117)	-0.01477(-0.73298)	-0.05376(-1.98027)		19.84928	0.77389	32
13	※-0.06515(-3.3697)	-0.01150(-1.25723)		※-0.08054(-7.27812)	-0.00685(-0.40921)	※-0.05975(-2.56673)		20.14078	0.84513	32
14	※-0.07060(-3.60886)	-0.01362(-1.47094)	-0.01711(-0.92033)	※-0.08364(-7.41384)		※-0.06361(-2.72926)		20.28451	0.84905	32
15	※-0.0697(-3.42238)		--0.01171(-0.62189)	※-0.08835(-6.94313)	-0.00879(-0.51235)	※--0.05305(-2.3092)		20.2021	0.838122	32
16		-0.01352(-1.20167)	-0.00183(-0.08328)	※-0.07467(-5.14278)	--0.01388(-0.6937))	※--0.0642(-2.26894)		19.9606	0.777553	32
17	-0.05754(-2.9763)	-0.02656(-1.88736)		※-0.09521(-8.15329)	※-0.02171(-2.95763)	※-0.04853(-2.35461)		20.27102	0.85549	32
18	※-0.06767(-3.45861)	-0.02215(-1.67318)	-0.0172(-0.94076)	※-0.09326(--8.04817)		※-0.05161(-2.47176)		20.34105	0.87664761	32
19	※-0.05307(-2.42752)	-0.04802(-2.0179)	※-0.04853(-2.35461)	※-0.05161(-2.47176)	-0.0212（-1.16318)	-0.02516（-1.36345)		20.49449	0.857426	32

シングル市場回帰分析の結果と考察

- 予想通り、男女アイドル、特に男性アイドルは他の属性と比較して、有意な結果となった。また、これらの係数がマイナスであることから、これらが市場に増加するとCDの生産枚数は減少するということが推測できた。

⇒男性アイドルで大きな割合を占めているジャニーズが、サブスクリプションでの楽曲提供をしていないことが要因となり、このような結果を生んだのでは？

〈アルバム〉

括弧内：t値　※：5%有意の結果であった場合

	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）		切片	補正R2	観測数
1				※-0.08788（-12.3877）				19.72502	0.181816	32
2						※-0.13551（-3.4518）		19.6086	0.260406	32
3				※-0.08881（-9.90265）		0.004147（0.174786）		19.721	0.825379	32
4	-0.00536(-0.2238)			※-0.08893 (-9.73581)		0.00303(0.12307)		19.7938	0.819487	32
5		※-0.03468(-2.21232)		※-0.09936(-10.2668)		-0.01426(-0.5998)		20.03196	0.846052	32
6			0.014905(0.976831)	※-0.08226(-7.34174)		0.004264(0.179599)		19.58539	0.825102	32
7				※-0.08185(-7.26362)	0.012015(1.018835)	0.002842(0.119698)		19.64733	0.825607	32
8	-0.10092(-0.85199)			※-1.0092(-10.1985)		-0.0202(-0.81168)		20.13196	0.84453	32
9	-0.00869(-0.36666)		0.0015709(1.003497)	※-0.8211(-7.20918)		0.002458(0.099854)		19.60852	0.819523	32
10	-0.01236(-0.51031)			※-0.08118(-7.06127)	0.01367(1.103857)	0.00008(0.003401)		19.68049	0.820876	32
11		-0.04025(-1.94591)		※-0.10462(-6.58492)	-0.00616(-0.42108)	-0.01655(-0.66889)		20.11958	0.841392	32

	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）		切片	補正R2	観測数
12		-0.03899(-1.95456)	-0.00653(-0.35857)	※-0.10355(-6.78845)		-0.0166(-0.66342)		20.13	0.841107	32
13			0.012281(0.784111)	※-0.07756(-6.1566)	0.010104(0.833534)	0.003146(0,131586)		19.54731	0.823175	32
14	-0.0183(-0.79077)	-0.04236(-2.01725)		※-0.10482(-6.55071)	-0.00466(-0.31388)	-0.02165(-0.84124)		.20.19346	0.83916	32
15	-0.0194(-0.844666)	-0.0429(-2.0847)	-0.00688(-0.37584)	※-0.1053(-6.80509)		-0.0227(-0.86836)		20.23631	0.839423	32
16		-0.0487(-1.80719)	-0.00969(-0.50087)	※-0.112(-4.91457)	-0.0084(-0.54592)	-0.0208(-0.78673)		20.29809	0.863178	32
17	-0.0142(-0.58141)		0.0131(0.824896)	※-0.0764(-5.9347)	0.0118(0.939111)	-7.1400(-0.00029)		19.57851	0.818731	32
18	-0.01811（-0.77107）	-0.05061（-1.85467）	-0.00944（-0.48435）	※'-0.1128（-4.8757）	-0.00694（-0.4397）	-0.02582（-0.93872）		20.36672	0.834281	32

アルバム市場回帰分析の結果と考察

●シングル同様、男性アイドルは他の属性と比較して、係数がマイナスかつ有意な結果となった。それに対して、女性アイドルはほぼ有意な結果が出なかった。

●シングルと比較した際、男性アイドル以外で有意な結果を持つ属性が少なかった。

⇒アルバムCDの売上は、男性アイドルによって支えられているのでは？

サブスクリプションとの互換性

シングル・アルバム　サブスク単回帰分析

●近年のCD市場の縮小には、サブスクリプションなどのストリーミングが大きく関わっていると考え、説明変数をCDの売上枚数の回帰分析同様に、

$$Insale = \alpha_0 + \alpha_1 \times \text{男性ソロ} + \alpha_2 \times \text{女性ソロ} + \alpha_3 \times \text{男性グループ（アイドル以外）} + \alpha_4 \times \text{女性グループ（アイドル以外）} + \alpha_5 \times \text{男性グループ（アイドル）} + \alpha_6 \times \text{女性グループ（アイドル）} + \varepsilon$$

に設定し、回帰分析を行う。

また、ここでは、ストリーミングについて、浅井に従い、自然対数に変換した数値を用いる。

〈シングル〉

括弧内：t値　　※：5%有意の結果であった場合

	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）		切片	補正R2	観測数
1	0.148155（0.798474）							3.175749	-0.02318	17
2		-0.14916（-1.98063）						4.190928	0.154464	17
3			-0.1746（-1.70922）					4.442504	0.107213	17
4				※0.254768（5.351652）				1.32624	0.633365	17
5					0.228936（0.737926）			3.424541	-0.0293	17
6						※0.31194（3.248029）		2.770186	0.373769	17
7				※0.217431（6.15634）		※0.21794（4.04794）		1.125884	0.819011	17
8	0.057073（0.706137）			※0.214333（6.033166）		※0.211273（6.033166）		0.998526	0.812288	17
9		0.038114（0.038114）		0.241794（0.241794）		※0.210322（3.781944）		0.746537	0.813274	17
10			-0.04167（-0.82662）	※0.203365（5.365404）		※0.216765（3.979885）		1.439811	0.814822	17
11				※0.216739（5.984731）	0.063415（0.441251）	※0.208472（3.505457）		1.09494	0.807965	17
12	0.055437（0.672821）	0.037157（0.720008）		※0.240729（4.672291）		※0.204032（3.543142）		0.632357	0.805067	17
13	0.022631（0.200446）		-0.02309（-0.45266）	※0.205774（4.987945 ）		※0.214391（3.706906）		1.317158	0.80006	17
14	0.051924（0.606927）			※0.215797（5.807092）	0.045091（0.299803）	※0.205139（3.350999）		0.988014	0.798158	17
15		0.024844（0.432025 ）	-0.03097（-0.53713）	※0.22388（3.631916）		※0.212099（3.701874）		1.11192	0.802463	17
16		0.035817（0.661186）		※0.241161（4.611194）	0.045629（0.305471）	※0.204091（3.33693）		0.753409	0.799274	17
17			-0.03913（-0.6747）	※0.204527（4.965525）	0.016617（0.102334）	※0.214355（3.492268）		1.412602	0.799565	17
18	0.04926（0.389163）	0.034755（0.535821）	-0.00585（-0.06654）	※0.237461（3.259709）		※0.205069（3.301195）		0.714152	0.787431	17
19	0.05243（0.597845）	0.035478（0.648537）		※0.240412（4.470889）	0.026979（0.172196）	※0.200689（3.179246）		0.642613	0.787918	17
20	0.024557（0.206623）		-0.02804（-0.34675）	※0.207543（4.576259）	0.021218（0.124273）	※0.21111（3.204303）		1.271977	0.782189	17
21		0.02487（0.414239）	-0.02838（-0.43337）	※0.225144（3.433558）	0.016906（0.100471）	※0.209641（3.244004）		1.0839	0.784702	17
22	0.052173（0.38937）	0.035381（0.519723）	-0.00026（-0.00264）	※0.240268（3.059407）	0.026806（0.151424）	※0.200757（2.826179）		0.64621	0.766709	17

〈アルバム〉

括弧内：t値　　※：5%有意の結果であった場合

	男性ソロ	女性ソロ	男性G（アイドル以外）	男性G（アイドル）	女性G（アイドル以外）	女性G（アイドル）		切片	補正R2	観測数
1	0.088229(0.354065)							3.330854	-0.05783	17
2		※-0.22482 (-5.44727)						4.894876	0.64184	17
3			※-0.19472(-2.3021)					4.635875	0.211809	17
4				※0.210448(7.802851)				1.974658	0.789153	17
5					※-0.61202(-2.48188)			4.243232	0.243847	17
6						※0.325392(3.299084)		2.717018	0.381857	17
7				※0.182788(5.848573)		0.104329(1.562961)		1.912893	0.831698	17
8	-0.00988(-0.08836)			※0.182763(5.636502)		0.105201(1.503964)		1.93639	0.792983	17
9		-000868(-0.12804)		※0.177323(3.308583)		0.100774(1.351045)		2.014809	0.79312	17
10			-0.01899(-0.37452)	※0.176859(4.921664)		0.103511(1.501575)		2.064647	0.79507	17
11				※0.175918(5.217535)	-0.096(-0.63609)	0.093194(1.323253)		2.100735	0.799111	17
12	-0.00868(-0.07439)	-0.00821(-0.11601)		※0.177593(3.177642)		0.10173(1.293041)		2.030016	0.775983	17
13	-0.03286(-0.25893)		-0.02521(-0.4358)	※0.17483(4.587212)		0.106143(1.468728)		2.192574	0.779226	17
14	0.001334(0.0011496)			※0.175901(5.007705)	-0.09629(-0.60514)	0.093042(1.249213)		2.098132	0.782373	17
15		-0.02662(-0.36104)		※0.15764(2.566295)	-0.11686(-0.70152)	0.0079869(0.977387)		2.454115	0.783709	17
16		-0.04082(-0.4552)	-0.03832(-0.56866)	-0.145118(1.837468)		0.085954(1.062199)		2.698507	0.781761	17
17			-0.02076(-0.39939)	※0.169196(4.370612)	-0.9935(-0.63571)	0.0091911(1.260916)		2.273197	0.785226	17
18	-0.05002(-0.3702)	-0.4957(-0.51615)	-0.05194(-0.65719)	0.135225(1.568274)		0.086197(1.026255)		3.029132	0.764851	17
19	0.007986(0.065437)	-0.02741(-0.3517)		※0.157018(2.418955)	-0.11923(-0.67105)	0.0078566(0.896599)		2.449024	0.765229	17
20	-0.02131(-0.16137)		-0.02473(-0.57797)	※-0.16819(4.115834)	-0.09532(-0.57797)	0.094088(1.218269)		2.347742	0.766254	17
21		-0.09037(0.479029)	-0.06496(-0.8924)	0.0092912(0.973737)	0.17729(-0.97874)	0.04394(0.479029)		3.840142	0.780993	17
22	-0.04549(-0.33429)	-0.09769(-0.89009)	-0.077(-0.9163)	0.084583(0.824459)	-0.17502(-0.92577)	0.044699(0.467084)		4.12622	0.761755	17

CD・サブスク回帰分析有意数の比較

	男ソロ	女ソロ	男G（アイドル以外）	男G（アイドル）	女G（アイドル以外）	女G（アイドル）
CDシングル	9	0	1	17	1	15
CDアルバム	0	1	0	17	0	1
サブシングル	0	0	0	16	0	17
サブアルバム	0	1	1	13	1	1

男性アイドルはCD・サブスク共に有意数が多い
女性アイドルはサブスクシングルで最も有意数が多い

サブスク回帰分析の結果から

●CDを被説明変数とした回帰分析よりも、かなりわかりやすく有意な結果が固まっている結果となった。

〈シングル〉

・有意な結果が男女アイドルのみに見られ、また係数は全ての場合においてプラスであった。

⇒アイドル男女共にCDの枚数の減少に比例して、サブスクの売上が減少している。

〈アルバム〉

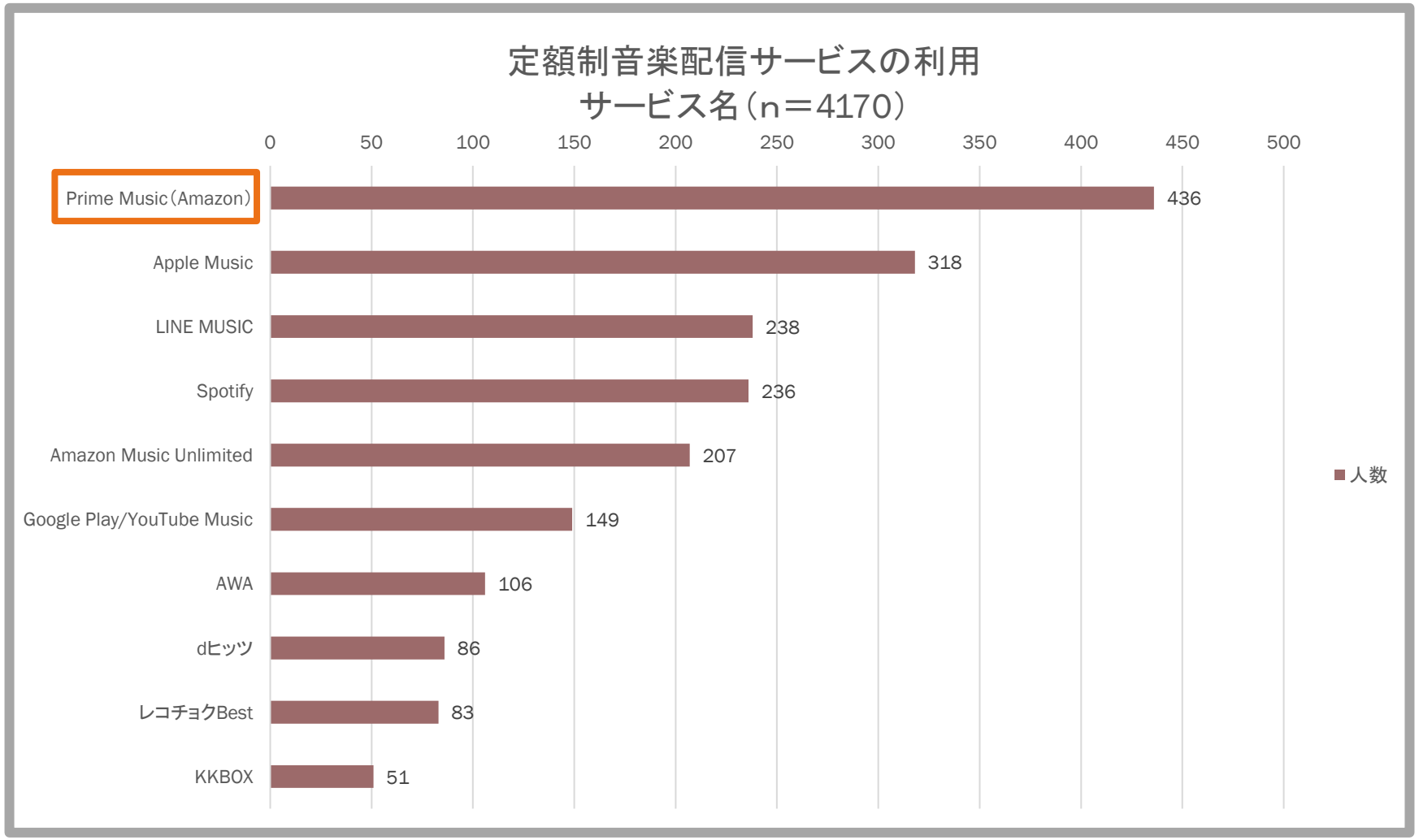
・単回帰こそ男性ソロ以外で有意な結果が見られたものの、重回帰では男性アイドルのみでしか有意な結果が得られず、また係数は一つの場合を除いてプラスの結果だった。

サブスク・CD市場の二分化

CD・サブスクの回帰分析の結果から

- 回帰分析の結果こそ両者に有意な結果が見られ、因果関係があると考えられた。

⇒しかし、サブスク市場とCD市場で、需要が二分化しているということは考えられないのか？



引用：ICT総研「2019年　定額制音楽配信サービス利用動向に関する調査」
https://ictr.co.jp/report/20190508.html/ （2022/10/20閲覧）

サブスク・CDの上位アーティスト比較

〈2020年〉

Amazon Music Prime	CD
Official髭男dism,	Six TONES
YOASOBI	AKB48
瑛人	嵐
あいみょん	乃木坂46
back number	Snow Man
ビリー・アイリッシュ	日向坂46
BTS	King&Prins
Daoko&米津玄師	Twenty★Twenty
yama	
official髭男dism	

〈2021年〉

Amazon Music Prime	CD
YOASOBI	Snow Man
BTS	なにわ男子
Awesome Citya Club	乃木坂46
Ado	King&Prins
藤井　風	INI
back number	日向坂４６
ONE OK ROCK	
VAUNDY	

引用:amazon music「2020年Best Of Prime Music」
https://music.amazon.co.jp/playlists/B08M9D1G7H（2022/10/21閲覧）

ランキングトップシングルCDのサブスクベスト100における順位

〈2020〉

アーティスト名	曲名	CDシングルランキング	amazonmusic 2021Best Songs
Sixtones	Imitation rain /D.D.	1位	圏外
AKB48	失恋ありがとう	2位	圏外
嵐	カイト	3位	圏外
乃木坂46	幸せの保護色	4位	圏外
snowman	KISSIN MY LIPS/Stories	5位	圏外
Sixtones	NAVIGATOR	6位	圏外
日向坂46	ソンナコトナイヨ	7位	圏外
King&Prince	Mazy Night	8位	圏外
Twenty★Twenty	smile	9位	圏外
Sixtones	NEW ERA	10位	圏外

〈2021〉

アーティスト名	曲名	CDシングルランキング	amazonmusic 2021Best Songs
SnowMan	Grandeur	1位	圏外
SnowMan	HELLO HELLO	2位	圏外
なにわ男子	初心LOVE(うぶらぶ)	3位	圏外
SnowMan	Secret Touch	4位	圏外
乃木坂46	僕は僕を好きになる	5位	圏外
乃木坂46	ごめんねFingers crossed	6位	圏外
乃木坂46	君に叱られた	7位	圏外

CDランキングから見るサブスクランキングでは相関性がない

サブスク上位曲のシングルCDベスト100における順位

〈2020〉

アーティスト名	曲名	amazonmusic 2020Best Songs	CDシングルランキング
YOASOBI	夜に駆ける	1位	圏外
Official髭男dism	I LOVE …	2位	51位
あいみょん	裸の心	3位	圏外
米津玄師	感電	4位	圏外
yama	春を告げる	5位	圏外
NiziU	Make you happy	6位	圏外
Mrs.GREEN APPLE	インフェルノ	7位	圏外
Uru	あなたがいることで	8位	圏外
BTS	Dynamite	9位	圏外
King Gnu	Teenager forever	10位	圏外

引用：Jpop Girls「歴代オリコンシングルチャート」
https://jpopgirls.com/single-chart/2020/ （2022/10/28閲覧）

〈2021〉

アーティスト名	曲名	amazonmusic 2021Best Songs	CDシングルランキング
YOASOBI	三原色	1位	圏外
BTS	Butter	2位	圏外
優里	ドライフラワー	3位	圏外
藤井風	きらり	4位	圏外
Official髭男dism	Cry Baby	5位	圏外
菅田将暉	虹	6位	圏外
LiSA	炎	7位	67位
BTS	Permission to Dance	8位	圏外

サブスクランキングから見るCDランキングも同様にほぼ相関性がない

サブスク・CD市場の比較結果より

ランキング上位アーティストの顔ぶれが全く異なることから、CD市場と、サブスク市場では、需要の要因が異なっていると考えられる。

⇒日本の音楽市場は、CD市場とサブスク市場に二分化しているのでは？

【ヘビー層（オタク）はCDに、ライト層はサブスクに？】

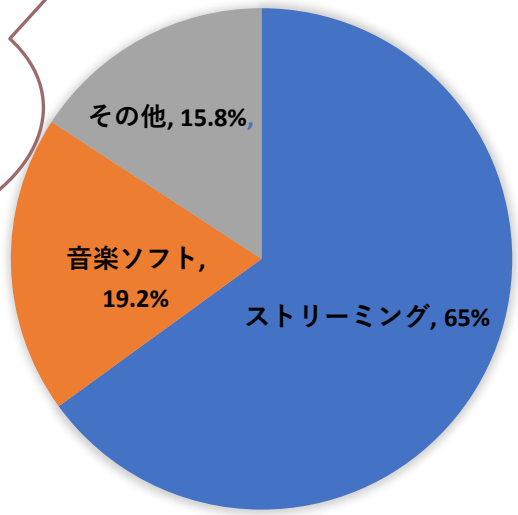
日本の音楽市場の将来性

日本と世界の音楽市場の乖離

【世界と日本の2021年の音楽市場比較】

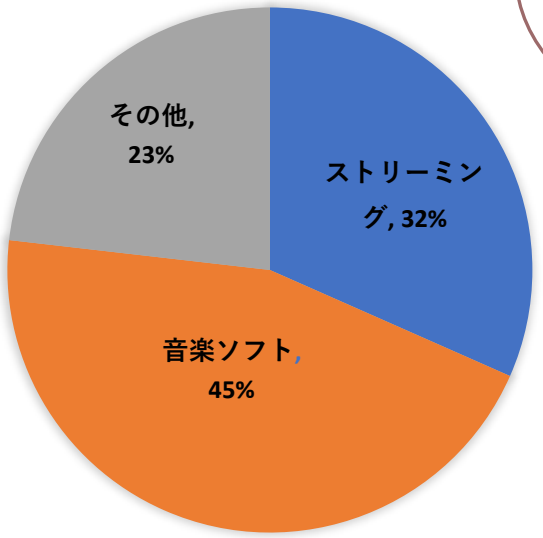
〈世界〉 全体：5兆5784億円

総収入前年比
18.5%増



〈日本〉 全体：2831億円

総収入前年比
4%増



引用：INPI「Global Music Report2022」https://www.ifpi.org/resources/（閲覧2022/11/11）
日本レコード協会「生産実績・音楽配信売上実績」https://www.riaj.or.jp/f/data/annual/msdg_all.html （閲覧2022/11/11）

世界と日本の音楽市場比較

〈世界〉

総収入：18.5%増▲

ストリーミング：24.3%増▲

〈日本〉

総収入：4%増▲

ストリーミング：14%増▲

日本の音楽市場と比較すると･･･

・世界の音楽市場の方が成長している
・ストリーミングも同様に世界市場の方が成長している

結び

●日本の音楽市場は、CDとサブスクの二分化が進んでおり、これは世界から見てもかなり特異である。

⇒CDはヘビー層（オタク）によって支えられている。

●日本・世界の動向から見るに、今後ますますサブスクリプションの普及と発展は見られ、CD売上市場と、サブスク市場における上位曲との乖離は進むと見られ、ライト層はCDではなくサブスクリプションに流れる。

⇔しかし、世界的なサブスクリプションの普及で世界の音楽市場の拡大が見られる。

●CD市場の生き残りという観点では、アイドルの売上に依存せざるを得ないが、音楽市場の発展という観点では、サブスクリプションへの移行が望ましいと考えられる。

参考文献

- 一般社団法人日本レコード協会「生産実績・音楽配信売上実績　合計金額推移」https://www.riaj.or.jp/f/data/annual/total_m.html　（2022/06/25閲覧）
- 一般社団法人日本レコード協会「年次ミリオン認定作品」https://www.riaj.or.jp/f/data/others/mil.html　（2022/08/02閲覧）
- 一般社団法人日本レコード協会「年次ミリオン認定作品」https://www.riaj.or.jp/f/data/others/mil.html　（2022/08/02閲覧）
- 浅井澄子,『CDと音楽配信の需要の決定要因』.InfoCom review(vol.55,62-76,2011)
- Jpopgirls「歴代オリコン邦楽シングルチャート」https://jpopgirls.com/single-chart/（2022/08/25閲覧）
- ICT総研「2019年　定額制音楽配信サービス利用動向に関する調査」https://ictr.co.jp/report/20190508.html/　（2022/10/20閲覧）
- amazon music「2020年Best Of Prime Music」https://music.amazon.co.jp/playlists/B08M9D1G7H　（2022/10/21閲覧）
- Jpop Girls「歴代オリコンシングルチャート」https://jpopgirls.com/single-chart/2020/　（2022/10/28閲覧）
- INPI「Global Music Report2022」https://www.ifpi.org/resources/　（閲覧2022/11/11）
- 日本レコード協会「生産実績・音楽配信売上実績」https://www.riaj.or.jp/f/data/annual/msdg_all.html　（閲覧2022/11/11）